

地域ケア会議から把握された地域課題

類型	具体的内容
孤立	<ul style="list-style-type: none"> • 近隣との交流が減少している • 家族、親類と疎遠、関係が悪い • キーパーソン、相談相手がいない • 地域関係の希薄化 • 地域の認知症に対する理解が得られていない
外出	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の車の運転 • 歩行不安定で外出しにくい（専門職の関わり） • 住環境の整備 • 移動手段の確保 • 認知症の人が安全に外出できる体制づくり（認知症の理解、見守り）
経済的不安	<ul style="list-style-type: none"> • 次の行き先（賃貸住宅の転居・施設入所等）が困難
キーパーソン不在	<ul style="list-style-type: none"> • 独居 • 家族関係が悪い • 家族に精神疾患あり
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> • 独居、キーパーソン不在 • 最期をどう迎えるか、本人の意思決定・家族への支援 • かかりつけ医がいない
サービス拒否	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症があり、本人がサービス利用を拒否 • 家族が拒否（家族の意思によりサービスが決定）
服薬管理	<ul style="list-style-type: none"> • 独居 • 本人が飲みやすい環境づくり • 薬の管理者の確保
家族に精神疾患あり	<ul style="list-style-type: none"> • 家族関係が悪い、虐待のリスクが高い • 家族へのサポート不足 • それぞれのサポート体制はあるが、動きがバラバラで連携が取れていない